



2013年度

ディスクロージャー
上半期のご報告

J A バンク 京 都 信 連

京 都 府 信 用 農 業 協 同 組 合 連 合 会

目 次

- 地域貢献への取り組み……………1
- リスク管理債権残高……………4
- 金融再生法開示債権区分に基づく保全状況
……………4
- 単体自己資本比率……………5
- 主要勘定の状況……………6
- 収益等の状況……………7
- 有価証券等時価情報……………7

●金額は、原則として単位未満を切り捨てて表示しています。

【地域貢献への取り組み】

当会は、京都府を事業区域として、地元の JA 等が会員となって、お互いに助け合い、お互いに発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の農業専門金融機関であるとともに、地域経済の活性化に資する地域金融機関です。

当会は農家組合員の皆さまの経済的・社会的地位の向上を目指し、JA との強い絆とネットワークを形成することにより JA 信用事業機能強化の支援を行うとともに、地域社会の一員として地域経済の持続的発展に努めています。

また、資金供給や経営支援などの金融機能の提供にとどまらず、環境、文化、教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでいます。

●地域からの資金調達の状況

当会の平成 25 年 9 月末の貯金残高は（譲渡性貯金を含む）1 兆 6 0 9 億円となり、うち 9, 3 6 2 億円は府内 JA からお預かりしています。

また、組合員をはじめ地域の皆さまの計画的な資金作りをお手伝いさせていただくため、目的に応じた各種貯金の取扱いをしています。

●地域への資金供給の状況

組合員をはじめ地域の皆さまからお預かりしている大切な資金は、農家組合員や農業に関連する企業、地場産業ならびに地方公共団体等においてご利用いただいています。また、農業の担い手を金融面から積極的に支援するため、(株)日本政策金融公庫の受託貸付金の活用にも努めています。

●地域密着金融への取り組み

1. 地域農業の発展、活性化を支援するため、当会内に農業金融センターを設置するなど、JA と一体となって次の通り取り組んでいます。

① 農業者等への経営支援に関する取組

農業者の協同組織金融機関として、健全な事業を営む農業者をはじめとする地域のお客さまに対して必要な資金を円滑に供給していくことを、「最も重要な役割のひとつ」として位置づけ、貸付条件の変更等の相談や申込みに柔軟に対応するよう、また、お客さまからの経営相談に積極的かつきめ細かく取り組み、経営改善への取組みを支援できるよう努めています。

② 農業担い手支援

担い手のニーズに応えるため、各 JA の担い手金融リーダーや TAC 等と連携し、金融面からのサポートに取り組んでいます。

また、(株)日本政策金融公庫の農業経営基盤強化資金（スーパーL）等の活用により、農業者の自主性と創意工夫による経営規模拡大や経営改善を支援しています。

今後も各 JA との連携をさらに強化するとともに、事業間連携強化に取組み、農業制度資金、当会農業資金の活用による担い手支援を進めてまいります。

③ JA バンク京都農業被害利子補給事業

農業経営基盤に甚大な被害を及ぼす自然災害により、農業被害を受けられた農業者等への JA 融資に対し、利子補給を行い、金利負担の軽減を図ることで農業経営の復興を支援しています。

④ その他の支援

新規就農者への就農支援資金による支援等、京都府をはじめ関係機関と協調・連携し、活力ある京都府農業の支援に努めています。

2. 農山漁村等地域活性化のための融資を始めとする支援

① JA グループ京都担い手対応連絡協議会を通じた取組み

京都府農協中央会が組織する連絡協議会を通じて、他の連合会と事業間連携・情報交換を図るとともに、JA グループ京都農業法人協会の会員を中心に訪問活動を展開し、資金ニーズの把握・融資対応に努めています。

② 担い手に適した資金供給手法の取組み

・資金コーディネート

農業者にとって最適な資金提供ができるよう、農業資金のパンフレット等も作成・活用し、提案型の相談対応に努めています。

・アグリシードファンド

アグリビジネス投資育成株式会社のアグリシードファンドを活用し、地域の農業発展の核となる農業法人に対する資本増強を、農林中央金庫と連携して取り組んでいます。

3. JA バンクアグリサポート事業（JA バンクアグリ・エコサポート基金）

JA バンクとして、日本の農業・農村に対する支援を行うため、農林中央金庫が主体となって「JA バンクアグリ・エコサポート基金」を設立し、農業振興や環境保全に貢献する事業を展開しています。内容としては「利子助成事業」、「JA バンク新規就農応援事業」、「JA バンク食農教育応援事業」、等があります。

① 利子助成事業

JA が行う担い手向けなど一定の農業融資に対して、利子助成が行われています。

② JA バンク新規就農応援事業

新規就農希望者を育成するための研修受入先に対して、研修費用の利子助成が行われています。

③ JAバンク食農教育応援事業

「農業と食」「農業と環境」「農業と経済」をテーマとする補助教材を制作しており、JAバンク京都では、府内の公立小学校の小学校5年生全員に教材本を贈呈し、食農教育の理解促進に努めています。

4. 農商工連携応援ファンドを通じた支援

当会では、京都府や地元金融機関、JA 京都中央会とともに「きょうと農商工連携応援ファンド」に対して資金を拠出し、府内の農林漁業者と中小企業者の密接な連携による新たな京都ブランドの創造や農業経営の改善・向上を図る取組みに対して支援を行っています。

●文化的・社会的貢献に関する取り組み

1. 「全日本大学駅伝対校選手権大会」への協賛・支援

全国のJAバンクで協賛する「全日本大学駅伝対校選手権大会」の関西地区予選会で支援活動を行い、青少年育成支援とスポーツ応援に取り組みました。

2. 「年金友の会」活動支援

府内 JA で年金をお受け取りいただいている「年金友の会」会員の皆さまの、地域における様々な活動を支援しています。

また、「年金友の会ご紹介キャンペーン」を展開し、より多くの皆さまにご参加いただけるよう取り組んでいます。

3. 年金相談会・住宅ローン相談会の開催

府内 JA の各店舗における「年金相談会」、「住宅ローン相談会」の開催を支援し、地域の皆さまの相談ニーズに応えられるよう、相談員の派遣や資材の提供などに取り組みました。

4. 広報活動

テレビ番組「あぐり京都」（企画・提供：JA グループ京都）、「夢追人～農に生きる～」(提供：JA バンク) やラジオ番組への協賛などを通じて、農業・農村の役割への理解や、食の安心・安全の浸透に努めています。

【リスク管理債権残高】

(単位：百万円)

	平成25年3月末	平成25年9月末	増	減
破綻先債権額	0	0	-	-
延滞債権額	1,124	602	△	522
3か月以上延滞債権額	-	-	-	-
貸出条件緩和債権額	-	-	-	-
リスク管理債権合計(B)	1,124	602	△	522

【金融再生法開示債権区分に基づく保全状況】

(単位：百万円)

平成25年3月末	債権額	保全額	担保	保証	引当
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	22	22	0	-	21
危険債権	1,102	1,102	35	971	96
要管理債権	-	-	-	-	-
小計 (A)	1,125	1,125	35	971	118

平成25年9月末	債権額	保全額	担保	保証	引当
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	21	21	-	-	21
危険債権	581	581	31	453	95
要管理債権	-	-	-	-	-
小計 (A)	602	602	31	453	116

(注) 平成25年3月末から9月末までの間に、債務者区分の変更が必要と認識した先については、9月末時点の債務者の状況に基づき債権区分を変更する方法により算出しています。

【自己資本比率の構成】

(単位：百万円)

項 目	平成25年3月末	平成25年9月末	項 目	平成25年3月末	平成25年9月末
出 資 金	32,681	32,681	他の金融機関の資本調達手段の意図的な保有相当額	—	—
うち後配出資金	24,695	24,695	負債性資本調達手段及びこれに準ずるもの	—	—
回 転 出 資 金	1,340	1,340	期限付劣後債務及びこれに準ずるもの	—	—
再 評 価 積 立 金	1	1	非同時決済取引に係る控除額及び信用リスク削減手法として用いる保証又はクレジット・デリバティブの免責額に係る控除額	—	—
資 本 準 備 金	—	—	基本的項目からの控除分を除く、自己資本控除とされる証券化エクスポージャー（ファンドのうち裏付資産を把握できない資産を含む。）及び信用補充機能を持つ/Oストリップス（告示第223条を準用する場合を含む。）	22	22
利 益 準 備 金	8,979	8,979	控除項目不算入額	—	—
電 算 対 策 積 立 金	1,300	1,300	控除項目 計 (D)	22	22
特 別 積 立 金	9,600	9,600	自己資本額 (C-D) (E)	73,421	75,214
次 期 繰 越 剰 余 金 (又は次期繰越損失金)	2,741	4,394	資産 (オン・バランス) 項目	281,010	303,432
処 分 未 済 持 分	—	—	オフ・バランス取引等項目	642	622
その他有価証券の評価差損	—	—	オペレーショナル・リスク相当額を8%で除して得た額	6,364	6,364
営 業 権 相 当 額	—	—	リスク・アセット等計 (F)	288,017	310,419
企業結合により計上される無形固定資産相当額	—	—	Tier1 比率 (A/F)	19.66%	18.78%
証券化取引により増加した自己資本に相当する額	—	—	自己資本比率 (E/F)	25.49%	24.22%
基本的項目 計 (A)	56,643	58,296			
土地の再評価額と再評価の直前の帳簿価額の差額の45%相当額	—	—			
一 般 貸 倒 引 当 金	274	258			
相 互 援 助 積 立 金	2,208	2,356			
負債性資本調達手段等	15,000	15,000			
負債性資本調達手段	15,000	15,000			
期限付劣後債務	—	—			
補完的項目不算入額	△ 683	△ 675			
補完的項目 計 (B)	16,800	16,940			
自己資本総額 (A+B) (C)	73,443	75,237			

(注) 1. 農協法第11条の2の規定に基づく組合の経営の健全性を判断するための基準に係る算式に基づき算出しております。なお、当会は国内基準を採用しています。

2. 当会は、信用リスク・アセット額の算出にあたっては標準的手法を、適格金融資産担保の適用については信用リスク削減手法の簡便手法を、オペレーショナル・リスク相当額の算出にあたっては基礎的手法を採用しています。基礎的手法とは、1年間の粗利益に0.15を乗じた額の直近3年間の平均値によりオペレーショナル・リスク相当額を算出する方法です。

なお、1年間の粗利益は、経常利益から国債等債券売却益・償還益及びその他経常収益を控除し、役員取引等費用、国債等債券売却損・償還損・償却、経費、その他経常費用及び金銭の信託運用見合費用を加算して算出しています。

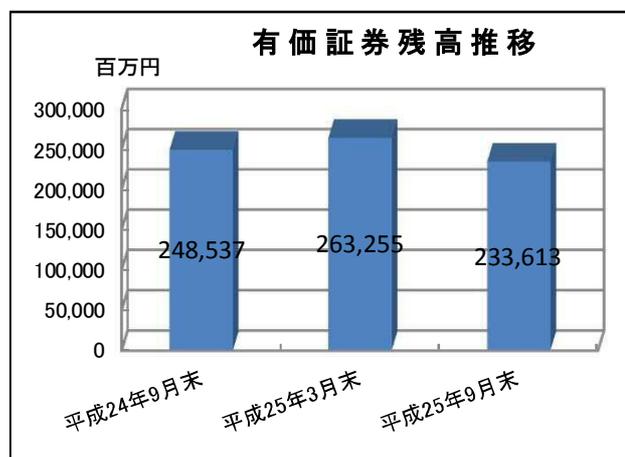
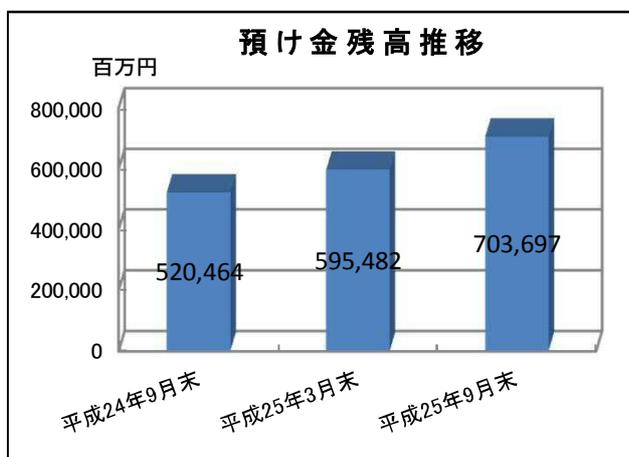
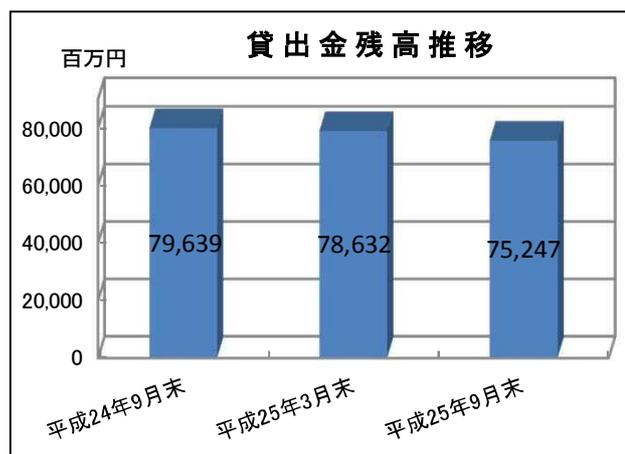
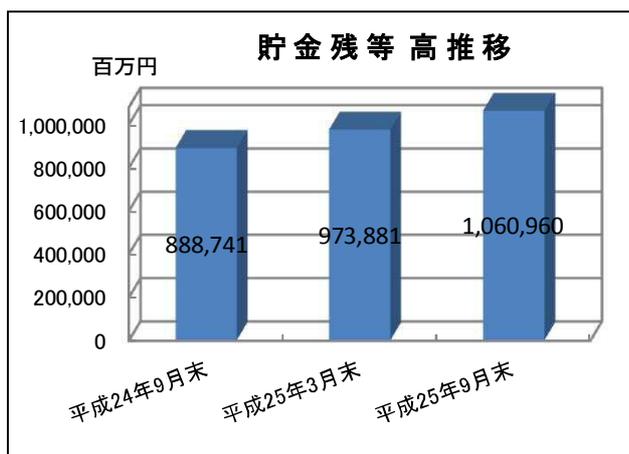
3. 「農業協同組合等がその経営の健全性を判断するための基準等の特例（平成25年金融庁・農林水産省告示第13号）」に基づき、基本的項目からその他有価証券評価差損を控除していないため、「その他有価証券の評価差損」は「—（ハイフン）」で記載しています。

【主要勘定の状況】

(単位：百万円)

	平成24年9月末	平成25年3月末	平成25年9月末
貯金等	888,741	973,881	1,060,960
貸出金	79,639	78,632	75,247
預け金	520,464	595,482	703,697
有価証券	248,537	263,255	233,613

(注)貯金等には、譲渡性貯金が含まれています。



【収益等の状況】

(単位：百万円)

	平成23年9月末	平成24年9月末	平成25年9月末
経常収益	5,793	5,737	6,383
経常利益	1,323	1,656	2,206
当期剰余金	840	1,232	1,653

【有価証券等時価情報】

○有価証券

(単位：百万円)

区分	平成25年3月末			平成25年9月末		
	取得価額	時価	評価損益	取得価額	時価	評価損益
売買目的	-	-	-	-	-	-
満期保有目的	60,623	61,649	1,026	54,808	55,633	825
その他	197,668	202,632	4,963	174,440	178,804	4,364
合計	258,291	264,281	5,989	229,248	234,438	5,189

注 平成25年9月末有価証券の時価は9月末日における市場価格等に基づく時価としています。

取得価額は、売買目的有価証券については取得価額を、満期保有目的有価証券およびその他目的有価証券については償却原価適用後、減損適用後の帳簿価額を記載しております。

○金銭の信託

(単位：百万円)

区分	平成25年3月末			平成25年9月末		
	取得価額	時価	評価損益	取得価額	時価	評価損益
運用目的	2,952	2,952	-	2,952	2,910	△42
満期保有目的	60,000	62,959	2,959	60,000	62,371	2,371
その他	38	33	△5	38	33	△5
合計	62,991	65,946	2,954	62,991	65,315	2,323

注 平成25年9月末金銭の信託の時価は9月末日における市場価格等に基づく時価としています。

取得価額は、運用目的金銭の信託については取得価額を、満期保有目的金銭の信託およびその他目的金銭の信託については償却原価適用後、減損適用後の帳簿価額を記載しております。

発行 / 平成 25 年 12 月 編集 / JA バンク京都信連 総務部

〒601-8585 京都市南区東九条西山王町 1 番地

TEL 075-681-2413 FAX 075-691-1153

URL <http://www.jabankkyoto.or.jp/s/>